

一般質問

9月議会では、11名の議員が市政に対して、一般質問を行いました。
議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しております。
土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の
会議録を掲載しています。ぜひアクセスして、詳細をご覧ください。

一般質問へのアクセス方法

視聴の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒

どちらかの 方法

議会ライブ中継 ⇒ 議会の日程から選ぶ
⇒ 視聴したい日にち ⇒ 一般質問
議会ライブ中継 ⇒ 議員の名前から選ぶ ⇒ 日時を選ぶ

文書の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒
議会会議録検索 ⇒ 会議録検索システムへ

《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

◆ 学びの保障について
問 コロナ禍の下、教育委員会の意思決定はどのように行われてきたのか。
答 国の通知や県の指導、校長会との協議及び校長会からの要望に基づき、意思決定を行ってきた。
● 学びの保障を最大限確保する見地から最善の決定のできる教育委員会であるとともに、児童生徒の保護者の心にも寄り添うことのできる教育

◆ 教育現場の現状と、児童生徒の「学びの保障」について
問 コロナ禍の下、教育委員会の意思決定はどのように行われてきたのか。
答 国の通知や県の指導、校長会との協議及び校長会からの要望に基づき、意思決定を行ってきた。

◆ 全数調査を行うのは難しい。これまでと同様に、個別の聞き取り調査を行い、支援策を検討していきたい。
● 調査の方法自体には拘泥しないが、調査の対象を広げたり、聞き取りの頻度を高めたりすることで、調査の精度を上げ、これまで以上に、市内事業者の皆さんの状況をしっかりと把握することに努めて頂きたい。

◆ コロナ禍における市内事業者に対する支援について
問 現状と課題を把握するため、本市独自の実態調査を行うことについての見解を聞きたい。



● 後藤 正樹 ●

委員会であってほしい。
問 学習指導員とスクール・サポート・スタッフの活用状況を知りたい。
答 前者は児童生徒の個別支援と教材作成等の業務、後者は給食の配膳の補助等を行うことで、学びの保障と教職員の負担軽減を図っている。

◆ 教育環境の整備・拡充について
問 小中学校の特別教室にエアコンを設置することについて、加藤市長の見解を聞きたい。

答 本市の財政事情と国の財源措置の活用等を踏まえて検討していきたい。
● 一度に全ての特別教室に設置するのではなく、理科室のような、特に使用頻度の高い教室から優先順位をつけて設置を進めていってもよいと思う。加藤市長の英断に期待する。
問 GIGAスクール構想の推進及びオンライン授業の体制準備のために重要となる教員のICT活用指導力向上を、どのように図っていくのか。
答 ICT教育推進委員会を立ち上げ、指導の手引書の作成を進めている。

問 コミュニティ・スクールの現状と活性化に向けた取組を知りたい。
答 8つの学校運営協議会を設置し、運営方針の承認や年間計画等の確認をした。アドバイザーの派遣や実践交流会等を、制度推進に役立てたい。
● 当該制度が各地域に根づくように、サポートに力を注いで頂きたい。



● 杉浦 司美 ●

◆法定外公共物について

問 赤道や、青道などの法定外公共物は、特段法律の定めがないため、その取扱いは、はっきりせず古くからの慣習として、その維持管理は、地元町内会や、地域住民に任されている。管理者としてこの現状をどのように考えるのか。

答 法定外公共物は非常に多くあり、全ての維持管理を市で行うことは、困難であることから、利用されている地元の方々をお願いしているところ、大変感謝をしている。地元が管理するには危険な場所や、放置すれば災害につながる恐れのあるような場所については、市において計画的に工事や委託をしていくことも検討していく時期に来ている。

問 人口減少、少子高齢化により、地域で管理することが困難な状況となることが予想される。法定外公共物等の維持管理に限定して、各町の自治会組織に、予算執行の裁量を持たせた予算配分をしてみてもどうか。

答 自治会組織へ裁量を持たせた予算

配分については、多くの課題がある。当面は、予算の範囲内で、少しでも法定外公共物の維持管理に対して割り振ることができないか検討し、進めて行きたい。

◆戦没者慰霊碑の管理について

問 市内には、各町に戦没者慰霊碑が存在し、顕彰碑、供養塔などを含め相当な数の碑などが建立されている。その維持管理の大部分は、遺族会のみなさんによつてご尽力いただいているところであるが、遺族会の皆さんの高齢化、経年劣化や耐震性の問題で適切な維持管理が困難な状況となつてきている。各町で慰霊碑の維持管理の仕組みを構築し、新たな適地で慰霊碑を建立してはどうか。

答 慰霊碑の扱いについては、建立者や遺族会のみなさんで決められるべきことであり、市としてはそれをどうすべきであるなどと言える立場ではないと考えるが、相談などあれば協議させていただきたい。

問 旧下石保育園の敷地の活用を地元と協議して、その一角に、下石をモデルケースとして、新たな慰霊碑を建立してみてもどうか。

答 遺族会の皆様と地元の総意により新たに慰霊碑を建立したいというご相談があれば、旧下石保育園跡地の利用についての可能性はあるのではないかと考える。

《第4回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



● 水石 玲子 ●

◆コロナ禍における避難所運営のあり方について

問 3密を避けるため、ホテルや旅館等を活用する考えはあるのか。又、どのような避難者を受け入れるのか。

答 感染症対策の観点からホテル等を活用する。今年1月にファミリーロツジ旅館屋土岐店と災害協定を締結した。高齢者、障がい者、介護者がみえる在宅要介護者、乳幼児、妊産婦などを受け入れる。

問 分散退避の周知方法は。

答 市のホームページ、広報、防災出前講座、SNSの活用などで周知。

問 女性の視点を生かしたレイアウト動線等の対策は。

答 市の避難所運営マニュアルには、女性の視点での避難所運営との項目を設けてある。更衣室、洗濯場、トイレの専用スペースを確保すること。女性専用の物資は女性担当者が配布。相談窓口の設置。プライバシーシールド、ワンタッチパーテーションの活用。今後は、HUGや避難所運営訓練等で、女性の意見を取り入れていく。

避難所運営訓練



プライバシーテント設置の様子

問 発熱等の症状がある方の対処は。

答 別のスペースへ誘導し、保健師が主治医へ搬送し受診につなげる。

◆特別定額給付金について

問 4月28日以降の新生児への支援は。

答 実施の予定はない。経済活動と新しい生活様式への対応支援に重点。

◆認知症高齢者等見守りシール事業

問 令和2年の行方不明者数は。

答 8月28日現在、8名。

問 見守りシール交付事業の見解は。

答 認知症による徘徊行動がみられる方等を介護されている家族等の精神的な負担軽減につながる。先行自治体の実績、効果を調査し導入を検討。

◆要介護者おむつ購入助成について

問 詳細を教えてください。

答 平成30年より開始。市のHP、広報、ケアマネから要介護者の家族へ周知。申請は市の高齢介護課へ提出郵送可。要介護4、5を認定の方で、世帯全員市民税非課税の方対象。